

Ⅲ. ポストグローバル時代に向けた日本人の食に対する意識改革

チーム名：食糧班

メンバー：持田 哲宏¹⁾，岩下 真理²⁾，梅染 俊行³⁾，小高 勇⁴⁾，隅倉みさき⁵⁾，真野 文宏⁶⁾

¹⁾ 東京都下水道局 (〒165-0026 東京都中野区新井 3-37-4 中野水再生センターポンプ棟 5F

E-mail: Tetsuhiro_Mochida@member.metro.tokyo.jp)

²⁾ (株)東芝 (〒105-8001 東京都港区芝浦 1-1-1 E-mail: maril.iwashita@toshiba.co.jp)

³⁾ 月島機械(株) (〒104-005 東京都中央区佃 2-17-15 E-mail: toshiyuki_umezome@tsk-g.co.jp)

⁴⁾ 東京都下水道サービス(株) (〒100-8699 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル E-mail: isamu-kotaka@tgs-sw.co.jp)

⁵⁾ (株)日立製作所 (〒319-1221 日立市大みか町 7-2-1 E-mail: misaki.sumikura.mf@hitachi.com)

⁶⁾ (株)神鋼環境ソリューション (〒651-0072 神戸市中央区脇浜町 1-4-78 E-mail: f.mano@kobelco-eco.co.jp)

要旨：経済のグローバル化は、農業生産性の向上や食料入手の多様性をもたらした。その一方で、日本のような食料輸入国や発展途上国における農業を衰退させ、貧富の差が拡大している。さらに、近年、化石燃料の枯渇や食糧のバイオ燃料への転用、気候変動、世界人口増加などに伴い、食料不足の懸念がますます深刻化していることから、食料自給率の向上の重要性が増している。そこで、持続可能な食料生産と確保、配分がポストグローバル時代における対応の鍵と捉え、それを実現するために必要な日本人の食に対する意識改革の方法を検討した。

Ⅳ. サステイナブルなまちづくり

チーム名：クルクルサイクル

メンバー：市川 尚喜¹⁾，柿本 貴志²⁾，田本 典秀³⁾，辻 幸志⁴⁾，宮尾 圭一⁵⁾

¹⁾ (株)明電舎 (〒141-6029 東京都品川区大崎 2-1-1 ThinkPark Tower E-mail: ichikawa-na@mb.meidensha.co.jp)

²⁾ 埼玉県環境科学国際センター (〒347-0115 埼玉県北埼玉郡騎西町上種足 914 E-mail: a1101777@pref.saitama.lg.jp)

³⁾ 国土交通省 都市・地域整備局 (〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 E-mail: tamoto-n2i8@mlit.go.jp)

⁴⁾ 日本下水道事業団 (〒335-0037 戸田市下笹目 5141 E-mail: tsujik@jswa.go.jp)

⁵⁾ (株)東芝 (〒105-8001 東京都港区芝浦 1-1-1 E-mail: keiichi.miyao@toshiba.co.jp)

要旨：近年、地球規模で問題視されている共通のテーマとして、水問題、食糧問題、そしてエネルギー問題がある。これらの問題を個別に議論することは重要であるが、密接に関連しあう不可分な部分もあるため、複合的に扱う視点もまた重要である。そこで我々はまちづくりに関する既存の検討事例を整理した後に、すでに導入されているサステイナブルなまちづくりや都市運営をベンチマークにおき、全体最適を志向した資源循環型まちづくりの姿を検討した。